



令和8年度実証実験支援事業 業務委託概要資料

横浜市経済局イノベーション推進課

※当該資料は業務を分かりやすくするための参考資料のため、一部表現を省略しております。
具体的かつ正確な行内容については、業務説明資料をご覧ください。

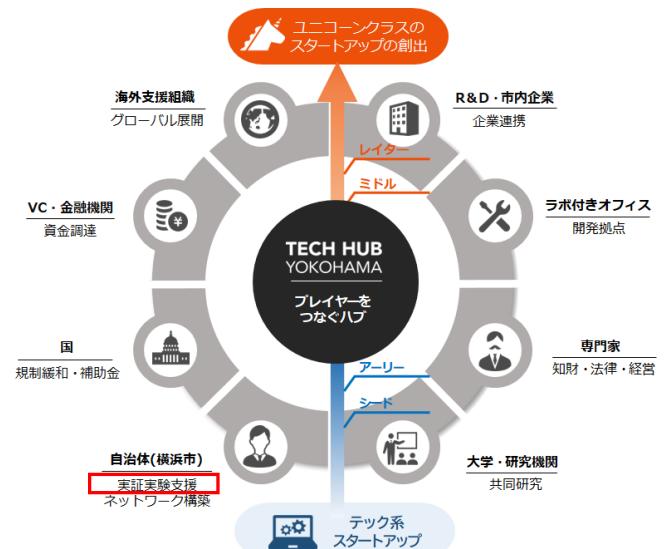
実証実験支援事業の背景



横浜市は、企業の研究開発拠点（R&D）や大学等の立地、技術者・研究者の豊富さといった横浜の特徴を生かし、今後更に成長が見込まれるセキュラーエコノミーやAI・半導体関連などの分野を中心に、グローバルな活躍が期待できるテック系スタートアップを重点とする支援策を展開し、ユニコーンクラスをはじめ、成長性の高いスタートアップの集積を目指します。スタートアップの成長・立地・創出を推進し、スタートアップによる雇用や市内企業との協業を進めることで、国内外から人・企業・投資を呼び込むスタートアップ・エコシステムを形成し、横浜経済の活性化につなげます。

その取り組みの一環として、国内外のスタートアップやベンチャーキャピタル、企業のR&Dに加え、市内の支援拠点や海外支援組織等をつなぐハブとして、TECH HUB YOKOHAMAを運営し、成長加速化に向けた伴走支援や、スタートアップとR&Dの協業促進等を行っています。

スタートアップが成長する上で重要な要素のひとつとなる実証実験については、「実証実験しやすい街」として、先進技術を活用した実証実験の相談・助言等を行います。また、成長が見込まれる実証計画については、戦略的な実証実験支援の枠組みを活用してフィールド調整等の伴走支援を行い、早期の社会実装を目指します。テック系スタートアップについては、実証実験に要する経費の助成だけでなく、協業先のマッチング等の強力な伴走支援により、成長を後押しします。



本市が目指すスタートアップ・エコシステムの形成イメージ

主な業務内容



業務内容	
大項目	具体的な業務
受付・相談	実証計画の内容確認、分類、関係機関への振り分け
事前相談	実証計画の解析・検証（ビジネスプランの妥当性等）
プレ実証フェーズ	実証フィールド・企業等の探索・調整 (候補地抽出・非公式の意向レベル確認)
審査補助業務	応募申請書のサマリー資料作成 当日の議事録作成 支援計画作成 進捗管理（課題整理・対応方針の提示） 定期メンタリング
伴走支援	実証フィールドおよび関係者の調整 法令順守、安全管理に関する助言・指導 効果検証支援 実施報告書の作成支援

2つの実証支援の概要

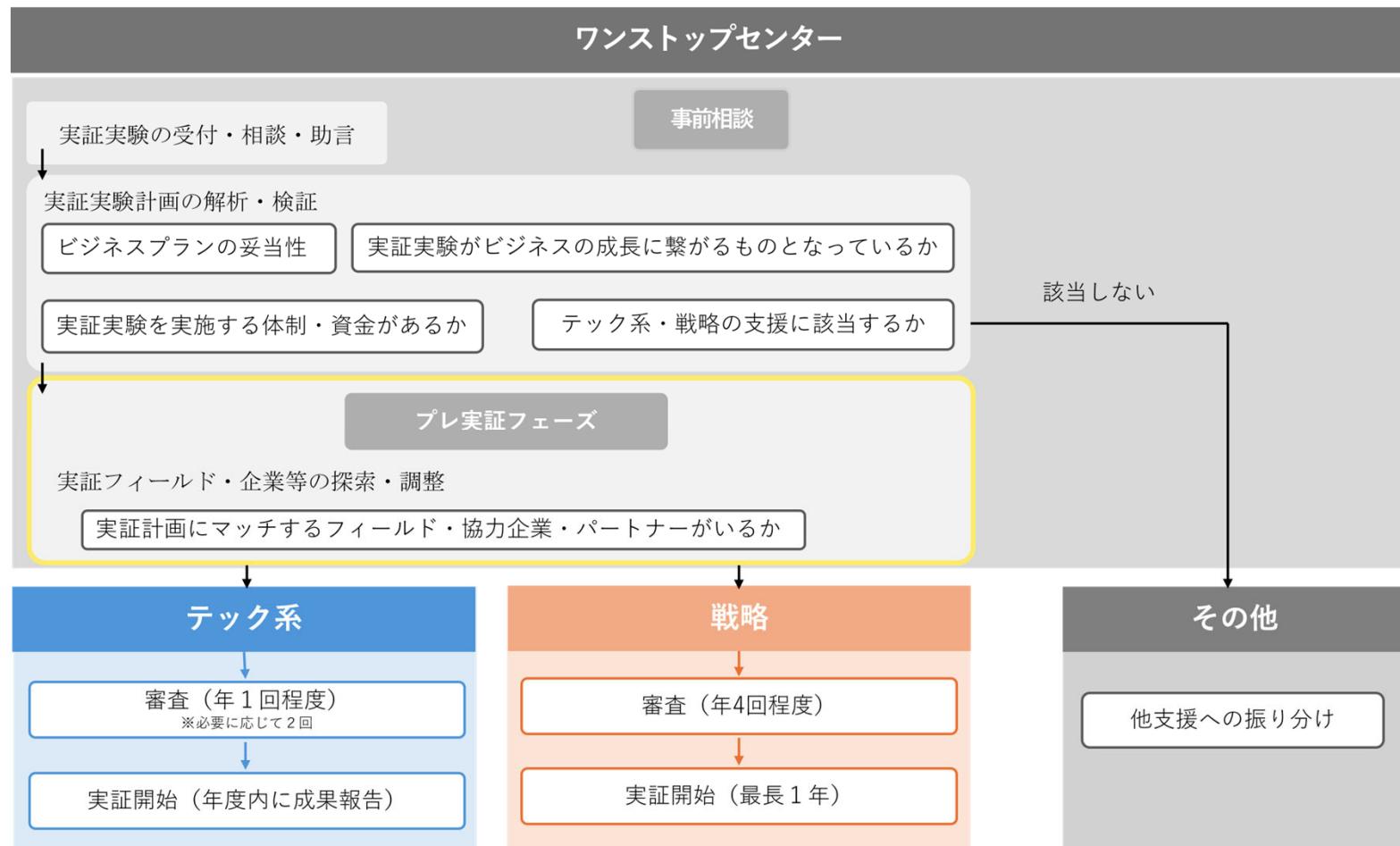
横浜市の実証実験支援は大きく2つに分けられます。

両支援の対象としている企業、実証フェーズ、また支援内容は以下の通りです。

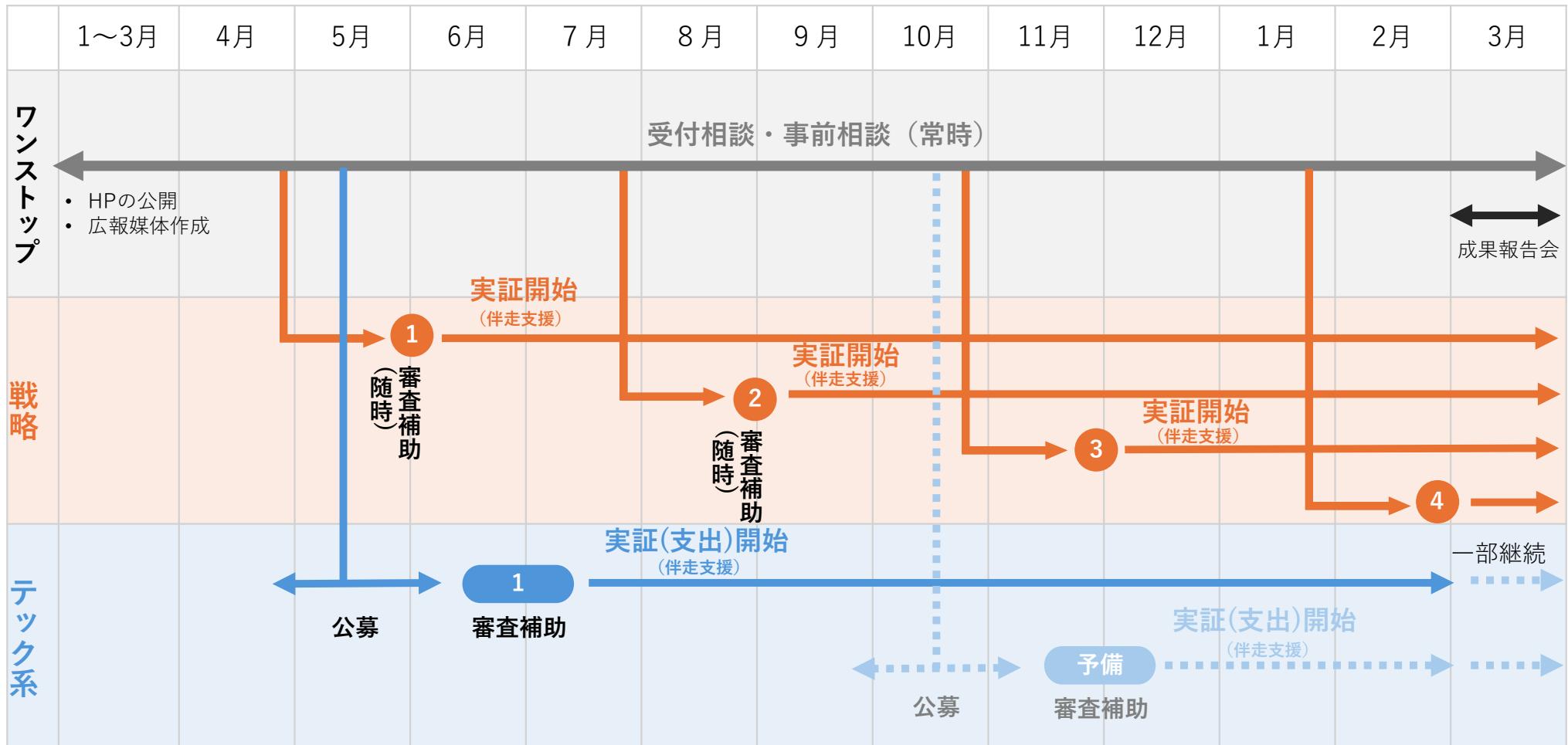


	テック系スタートアップ 実証実験等支援助成	戦略的な実証実験支援
対象	プレシード・シードのテック系スタートアップ	<ul style="list-style-type: none">・資金調達のあるスタートアップ (アーリー後期～ミドル)・実証を行える資金力・体制を有する企業
実証	PoC（概念実証）段階	社会実装に至る段階の事業、 PMFを検証する実証
支援	伴走支援（フィールド調整、マッチング等） + 助成金（200万円/社）	伴走支援 (フィールド調整、マッチング等)

業務の流れ



年間スケジュール



過去の支援事例



横浜市は、実証実験支援事業として、これまでに以下のような実証支援をしています。

自動運転走行実証

- ・フィールド管理者との調整支援
 - ・警察協議への同行
 - ・地元住民への説明同行
- ・道路管理者への許可申請に係る依頼
 - ・同時記者発表

テック系スタートアップ実証

- ・フィールド候補探索支援
- ・フィールド管理者との調整支援
 - ・進捗管理
 - ・定期メンタリング
- ・法令順守、安全管理に関する指導
- ・助成金交付

※本事例は、横浜市および受託者の双方が連携して支援を行ったものです。

これまでには、審査で採択された後に実証フィールドの調整を始めていましたが、次年度からは、採択前に事前相談の時間を設け、実証実験の計画内容の分析・検証、フィールド候補の探索を予備的に行い、あらかじめ実証実施について一定の見通しを立てます。